

リチウムイオンバッテリー13.2Ah 10A0007

チャージャー (16.8V 2A)
10C0012

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
あなたの安全を守るため使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、十分内容を理解してからお使いください。
この説明書は必要なときすぐに読めるように保管してください。
本書の内容についてご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。

BMO JAPAN

安全上の注意 (必ずお読みください。)

お使いになる人や他の人への危害及び財産の損害を未然に防止するため、取扱説明書に表示された内容は必ずお守りください。

必ずお守りください

- 専用充電器以外で充電しないでください。火災、破裂、破損の原因になります。
- 充電器を10A0007以外に使用しないでください。火災、破損の原因になります。
- バッテリーを火の中に投入したり、電子レンジやオーブン、電磁調理器等で加熱しないでください。
- バッテリーを火のそば、ストーブのそば、炎天下、高温になった車の中など60℃以上になるところで使用、充電、放置しないでください。
- バッテリーを金属製品と一緒に移動したり、保管したりしないでください。また、バッテリーの⊕と⊖を針金などの金属で短絡(ショート)しないでください。
- バッテリーの⊕と⊖を逆に接続して使用、充電をしないでください。
- バッテリーを水や海水につけたり、水中に投げたりしないでください。

取扱説明書のマークの意味は次のようになっています。

	警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表示しています。
	注意	この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を表示しています。

警告

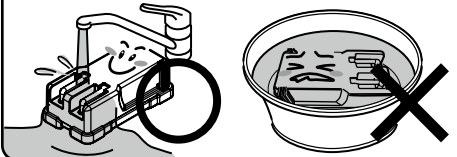
- ※ 改造、分解しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- ※ 落としたり、蹴ったり強い衝撃を与えないでください。故障、発熱の原因になります。
- ※ バッテリーに直接ハンダ付けしないでください。火災、破裂、故障の原因になります。
- ※ バッテリーからの発熱、液漏れ、膨張、異臭、その他今までと異なる場合は使用しないでください。
- ※ バッテリーから漏れた液が、皮膚や衣服に付着した場合は、直ぐにきれいな水で十分に洗浄してください。また、目に入った場合はこすらずに直ちにきれいな水で十分に洗浄した後、すぐに医師の治療を受けてください。
- ※ 充電しながらの使用はしないでください。
- ※ 使用用途以外に使用すると火災・感電・けがの原因になります。
- ※ 水中に落水させる等で内部浸水したものは使用しないでください。充電すると発火、破裂することがあります。

注意

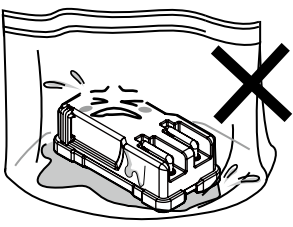
- ※ 充電器コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり重い物を載せないでください。火災、感電の原因になります。
- ※ 充電器コードやクリップが傷んだり破損しているときは使用しないでください。故障や事故の原因になります。
- ※ 外傷、変形の著しいバッテリーは使用しないでください。
- ※ ご使用前に、お使いの電動リールがリチウムイオンバッテリーに対応していることを各電動リールメーカーにご確認ください。
- ※ 年式の古い電動リールはリチウムイオンバッテリーに対応していない場合があります。

取扱上のお願い

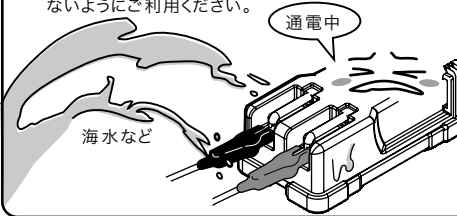
- 汚れ、海水が付着したままの状態では保管すると端子が腐食する恐れがあります。水道水で海水や汚れを十分に流してから通気性の良い場所で乾燥させてから保管してください。
- 洗浄時にバッテリーを水に沈めないでください。



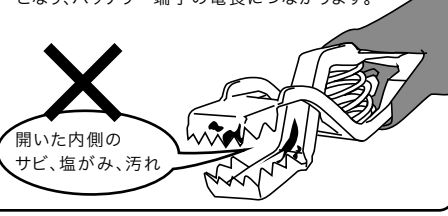
- 濡れたままビニール袋やバクカンなどで保管しないでください。錆や故障の原因になります。



- 通電中に端子に海水がかかると電食、塩がみが発生する可能性があります。電食や塩がみは通電不良の原因となります。なるべく端子に海水がかからないようにご利用ください。



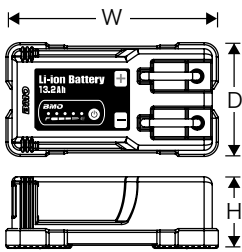
- バッテリー端子とワニ口グリップの接点部での通電不良にご注意ください。ワニ口を開いた裏側のサビ(青サビ、赤サビ)、塩がみ、汚れは通電不良の原因となり、バッテリー端子の電食につながります。



製品仕様 (定格、寸法)

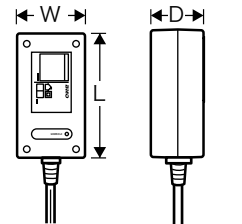
バッテリー本体 (10A0007)

容 量	13.2Ah
電 圧	14.4V
外 形 寸 法	W209×D112×H70.5 (mm)
重 量	1.5kg
使用温度範囲	充電: 10～45℃ 放電: -10～60℃
電 池 保 護	過負荷保護、温度保護
防 水 レ ベ ル	IP65



チャージャー (10C0012)

入 力 定 格	AC100V-240V 50/60Hz
出 力 定 格	DC16.8V 2A
外 形 寸 法	W67×L127×D38mm
重 量	400g
コ ー ド 長	180cm
使用温度範囲	-10～40℃



構成品

構成品をご確認ください。

万が一欠品がございましたら、販売店または弊社(取説末尾に記載)までご連絡ください。

●取扱説明書(1)

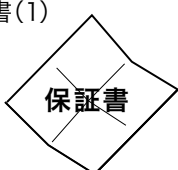
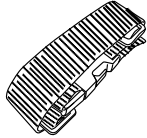
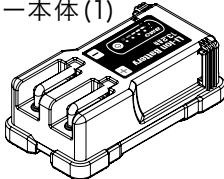
本書

バッテリー(10A0007)

●バッテリー本体(1)

●ベルト(1)

●保証書(1)



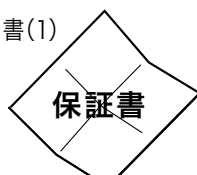
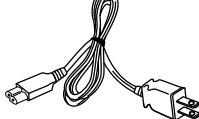
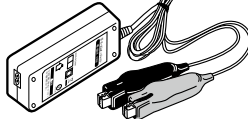
※操作パネルには保護フィルムが貼ってあります。使用時には剥がしてください。

チャージャー(10C0012)

●チャージャー(1)

●充電用ACコード(1)

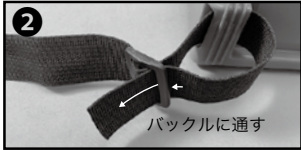
●保証書(1)



使用前の準備

付属ベルトの取り付け方法

- ❶のように、バッテリー本体のベルト通しにベルトの片端を通す。
- ❷のように、バックルの下側からベルトを通す。
- ❸のように、バックルにベルトを通す。
- 4 反対側も同様の方法でベルトを通す。



使用方法

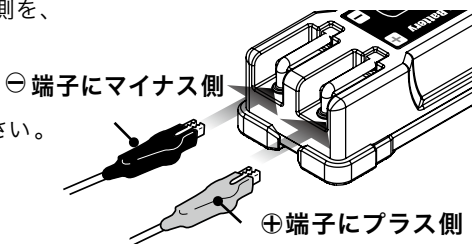
注意

- ※ 全ての電子機器、電動リールなどの正常動作を保証するものではありません。
- ※ このバッテリーをご使用になる前に、ご使用になられる機器の使用可能電圧など、ご確認の上でご使用ください。万が一、ご使用機器に不具合が生じても保証は致しかねます。
- ※ **お買い上げ時はバッテリーは満充電されていません。**必ず充電してからご使用ください。
- ※ バッテリーは-10℃～60℃の温度範囲でご使用ください。
- ※ 使用前に取扱説明書、注意書きをよくお読みください。
- ※ **このバッテリーはオートパワーオフ機能が付いています。**25mA以上の電流が約30分間ながれない場合は、電源がOFFになります。使用する場合は再度、電源をいれてください。
- ※ **バッテリーに使用機器を接続していても消費電流が25mA以下の場合、約30分間で電源がOFFになります。故障ではありません。**
- ※ **電動リールを複数接続し同時使用した場合、過電流保護が働き正常動作しない場合があります。**
- ※ **大電流を流すと電極が熱くなります。触ると火傷の恐れがあります。**
- ※ バッテリーを並列、及び直列に接続して使用しないでください。必ずバッテリーは単体でご使用ください。並列、及び直列に接続して使用すると、故障や事故の原因になります。

1 バッテリーの⊕端子に使用する機器のプラス側を、
⊖端子にマイナス側を接続してください。

2 スイッチを押してバッテリーをONにしてください。
LEDが点灯します。

使用方法 (裏面へつづく)



使用方法（表面のつづき）

- 3 スイッチを約3秒間押すと電源がOFFになります。
使用後は必ず電源をOFFにしてください。

※低温時には使用時間が短くなります。

動作ランプの表示とバッテリー残量 (●点滅 ●点灯 ○消灯)

残量状況	バッテリーLED表示						バッテリー残量			
満 ↓ 空	F	●	●	●	●	●	E		100～80%	
	F	○	●	●	●	●	●	E		80～60%
	F	○	○	●	●	●	●	E		60～40%
	F	○	○	○	●	●	●	E		40～20%
	F	○	○	○	○	●	●	E		20%以下
	F	○	○	○	○	○	◐	E 点滅	要充電	10%以下
	F	○	○	○	○	○	○	E 全消灯	要充電	0%

充電方法

⚠ 注意

- ※ バッテリーの充電は10℃～40℃の温度範囲内で行ってください。
- ※ 所定の充電時間(約6～7時間)を超えても充電が完了しない場合は充電を止めてください。
- ※ 充電器は室内用です。屋外で使用しないでください。
- ※ コードを束ねたまま使用しないでください。
- ※ 満充電の状態で充電を続けしないでください。充電が完了したら速やかに充電コードをコンセントから抜いて、バッテリーと充電器の接続を外してください。
- ※ 充電が完了したバッテリーはLEDが全点灯します。
- ※ 燃えやすい物の近くでは充電しないでください。
- ※ 充電中は決して放置せず、目を離さないようにしてください。

- 1 電源がOFFになっていることを確認してください。
ONの場合はスイッチを約3秒間押し続けてOFFにしてください。

- 2 バッテリーの⊕端子に充電器の赤クリップ、⊖端子に黒クリップを接続してください。

※通電状態(充電コードをコンセントに差し込んだ状態)で充電器のプラスとマイナスのクリップを接触させると火花を発する場合があります。

- 3 充電器のプラグをコンセントに差し込んでください。
充電器のLEDランプは通電を確認するための表示ランプです。
プラグをコンセントに差し込むとLEDランプが赤に点灯します。
バッテリーが満充電になってもLEDランプは赤のままなので、充電状態はバッテリー側のLED表示にて確認してください。

※バッテリー端子と充電器クリップの接続でプラスとマイナスを逆接した場合、正常に充電できません。充電器のクリップを正常に接続しなおしてください。また、バッテリーの電源が入った状態で逆接すると火花を発する場合があります。

- 4 充電終了後は充電用コードをコンセントから抜き、クリップをバッテリー端子から外してください。

動作ランプの表示と充電量 (●点滅 ●点灯 ○消灯)

残量状況		バッテリーLED表示						充電器ランプ	
空 ↓ 満	F	○	○	○	○	◐	E	○	赤
	F	○	○	○	◐	●	E	○	赤
	F	○	○	◐	●	●	E	○	赤
	F	○	◐	●	●	●	E	○	赤
	F	◐	●	●	●	●	E	○	赤
	F	●	●	●	●	●	E	全点灯	○

バッテリーの保護機能について

バッテリーが動作範囲を超えた場合、安全を確保するために保護機能が作動します。保護機能が作動しない範囲でのご使用を推奨いたします。

保護機能が作動すると、LEDランプが5個すべて点滅し、充電および放電を自動的に停止します。主な保護機能の内容及、作動時の対処方法は以下の通りです。

なお、下記の対処が難しい場合でも、LEDランプ(5点滅)は一定時間が経過すると自動的に消灯し、電源がオフになります。

■過負荷保護

使用機器に過大な負荷がかかり、バッテリーの許容電流を超えた場合に出力を停止します。

このような場合は、接続している機器の電源を切り、バッテリーから取り外してください。その後、バッテリー本体の電源をオフにし、何も接続していない状態で再度電源をオンにしてください。

■短絡(ショート)保護

使用中に短絡(ショート)が発生した場合、出力を停止します。

バッテリーの電源をオフにし、接続しているケーブルを取り外してください。

■温度保護

連続して大きな負荷がかかった場合や、使用状況によってバッテリー内部の温度が上昇した場合、出力を停止します。

このような場合は、接続している機器の電源を切り、バッテリーから取り外してください。その後、バッテリーの電源をオフにし、温度が十分に下がるまでお待ちください。温度が十分に下がりましたら、再度電源をオンにしてください。

■過充電保護

規定以上の充電量を検知した際に、安全のため充放電を停止します。

このような場合は、バッテリーと充電器の接続を外し、自然放電によりバッテリー電圧(充電量)が規定値まで低下するまでお待ちください。

防水レベルについて

10A0007の防水仕様はIP65です。

●IP65とは・・・粉塵が内部に侵入しない。また、あらゆる方向からの噴流水によっても、有害な影響を受けない。

お手入れについて

■ 使用後は必ずスイッチをOFFにして保管してください。

■ 電池本体のお手入れについて

バッテリー本体の汚れは水圧をかけずに水道水などで洗い流し、布などで拭いて水分や塩分をしっかり取り除いてください。特に電極に塩分が残っていると腐食します。

本体は防水構造ですが完全防水ではありません。水や海水に水没させて洗うことはしないでください。

ベンジン、シンナー等の有機溶剤や洗剤は使用しないでください。ケース劣化や破損の恐れがあります。

バッテリーの寿命について

リチウムイオンバッテリーは充放電を繰り返すたびに使用出来る容量が低下していきます。バッテリーの使用状況、保管環境により大きく変わりますが、約300回程度の充放電が可能です。

使用時間が新品時の半分程度まで短くなったときは、電池の寿命ですので新しい電池を購入してください。
＊寿命を延ばすためには「過放電状態にしない」「高温にしない」ことが効果的です。

■ リチウムイオンバッテリーの廃棄について

リチウムイオンバッテリーを廃棄する場合は⊕と⊖の端子にテープなどを貼り絶縁して自治体の指定する方法で処理するか、充電式電池リサイクル協力店などにおいてあるリサイクルボックスに入れてください。

その他のゴミと一緒に捨てないでください。火災、破裂の恐れがあります。

保管上の注意

リチウムイオンバッテリーは、使い切った状態での放置(過放電)で極端に劣化します。

数ヶ月以上にわたる長期間の保管の場合、2～3ヶ月を目処にバッテリー本体のLEDランプの表示を確認し、必要に応じて充電をしてください。放電した状態で長期間経過すると電池の放電が進み、使用出来なくなります。

リチウムイオンバッテリーは残量が40%～80%程度(LEDが2～4点灯する状態)で保管し、使用前日に満充電にすることをおすすめします。

湿度の少ない風通しの良い冷暗所に保管してください。

急激な温度変化を与えないでください。結露により内部に錆が発生する可能性があります。

燃えやすい物の近くで保管をしないでください。

故障かな?と思ったら

下記項目をチェックし、異常がある場合はお買い上げ店、または弊社へご連絡ください。

症状	対処
スイッチをONにしてもLEDが点灯しない	バッテリー残量が0%の場合は充電をしてください。
接続機器が動作しない	バッテリー本体のスイッチをONにしてください。
	端子の接続部分が汚れていないか確認してください。
接続機器の使用出来る時間が短い	正常に充電したもののでも使用時間が著しく短い場合は電池の寿命ですので交換してください。
	接続機器の消費電流が25mA以下の場合、オートパワーオフ機能により約30分間で電源がOFFになります消費電流が25mA以上であるか確認してください。
バッテリー、充電器が熱くなる	充電中や長時間の使用時には熱くなる場合がありますが、これは故障ではありません。
	素手で触れないほど熱くなった場合は異常が考えられるため、速やかに使用を止め、電源をOFFにして、お買い上げ店に検査の依頼をしてください。
充電が出来ない	端子の接続部分が汚れていないか確認してください。
	バッテリーまたは充電器の異常、断線が考えられる場合は速やかに使用を止め、電源をOFFにして、お買い上げ店に検査の依頼をしてください。
	充電器が正常に接続されているか(逆接していないか)確認してください。
LEDが本書に記載のない表示をする	バッテリーまたは充電器の異常の可能性があります。速やかに使用を止め、電源をOFFにして、安全な戸外に保管した後、弊社に検査の依頼をしてください。
電源が切れない	バッテリー充電中は自動的にLED表示がONになります。故障ではありません。
	バッテリー充電中以外の場合は、バッテリーの異常の可能性があります。速やかに使用を止め、安全な戸外に保管した後、弊社に検査の依頼をしてください。

その他、お気づきの点やご不明なことがございましたら、弊社または、お買い上げ店にご連絡ください。

株式会社ビーエムオージャパン

〒480-1151 愛知県長久手市久保山1602番地

Revision 1.3.0

マリン事業部

☎ 0561-56-8188

FAX 0561-56-8166

✉ marine@bmojapan.com

URL http://www.bmojapan.jp